

2015年1月作成（第1版）

日本標準商品分類番号	872616, 877325
承認番号	16000AMZ06573
薬価収載	1985年12月
販売開始	1985年12月
再評価結果	1982年8月

外用殺菌消毒剤

日本薬局方

クレゾール石ケン液

クレゾール石ケン液「タイセイ」
(クレゾール42～52vol%を含有)

Saponated Cresol Solution

500mL



発売元
健栄製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号 06(6231)5626
製造販売元
大成薬品工業株式会社
福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1

貯法：気密容器
遮光して室温保存
注意：「使用上の注意」
の項参照

[禁忌] (次の部位には使用しないこと)
損傷皮膚 [吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。]

[組成]
1mL中 日局クレゾール石ケン液 1mL含有。
[クレゾール 42～52vol%を含有。]
添加物としてナタネ油、水酸化カリウムを含有。

[性状]
黄褐色～赤褐色の粘稠性のある液で、クレゾール臭がある。

[効能・効果] [用法・用量]
クレゾールとして、下記の濃度に希釈して使用する。

効能・効果	用法・用量	本品の希釈倍数
手指・皮膚の消毒	0.5～1%	50～100倍
手術部位(手術野)の皮膚の消毒、 医療機器の消毒、手術室・病室・ 家具・器具・物品などの消毒	0.5～1%	50～100倍
排泄物の消毒	1.5%	33倍
腔の洗浄	0.1%	500倍

[使用上の注意]

1. 重要な基本的注意

- 原液又は濃厚液が皮膚に付着した場合には刺激症状を起こすことがあるので、直ちに拭き取り石けん水と水でよく洗い流すこと。
- 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 本剤を必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。

使用期限

日本薬局方

クレゾール石ケン液

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(その他の副作用)

過敏症 ^(注)	頻度不明
	紅斑等

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 人体

投与経路：経口投与しないこと。

使用時：

- 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、通常部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- 長期間又は広範囲に使用しないこと。

(2) その他

- 希釈する水にアルカリ土類金属塩、重金属塩、第二鉄塩、酸類が存在する場合、変化することがあるので注意すること。
- 本剤は常水で希釈すると次第に混濁して沈殿することがあるが、このような場合には上澄み液を使用すること。

[薬効薬理]

本剤は使用濃度において抗酸菌を含む通常の細菌には有効であるが、芽胞及び大部分のウイルスに対する殺菌効果はほとんど期待できない。

製造番号

LM141209K

＜バーコード用位置情報＞
01)04987286814667

＜バーコード用位置情報＞
01)14987286814662

ボトル: PE
金属: キャップ